

## 築50年のホテルを大規模リニューアル

観光利用や女性客の確保も視野に入れて仕上げる

大阪市北区が所有する

グランドホテル(大)

のよき同エリアは近年

から近々、観光・ビ

ジネスの双方に利便性

25室へ客室を増床。

「弊社は店舗の設計・

す」とのことだ。

# クロスアップ

## 宿泊施設

編



▲生まれ変わったホテルの外観写真

年を追う毎に訪日観光客の増加が続いている日本であるが、昨今の日韓関係の悪化によって韓国からの訪日観光客の減少が危惧されている。しかし、いまだ宿泊施設の開発工事は首都圏や一部の地方都市で継続中。地方都市によっては観光客から得られる収益によって、街の再興や活性化に期待を寄せる声もある。まだまだ強いニーズのある宿泊施設に焦点を当てた。

築50年となる同ホテルは、伸び悩む稼働率と宿泊者の満足度の向上を促すべく、大規模なリニューアル工事を踏ま、フロントは既存の位置をセットバックすることでゆとりある空間を設計し、床の大理石は既存を利用するなど、新旧の意匠が協調しあう空間を創りあげた。2階のレストラン「Long Table」の新しいスペースも必見だ。リニューアル後は近隣に新築ホテルが建ち並ぶ中、客室稼働率の大幅な向上を表現。今回プロジェクトを担当したR事業部マネージャーの伊藤奈緒美氏は「提案ができれば本望で

利便性の高い立地と穏やかな川沿いという高いポテンシャルを併せ持つ同ホテルの希少性を最大限に生かす表現すべく、建物内外に川の流れを想起させるテキストを取り入れ、穏やかな癒しを体験できる空間を演出した。施工からスタートし、また、フロントは既存の位置をセットバックすることでゆとりある空間を設計し、床の大理石は既存を利用するなど、新旧の意匠が協調しあう空間を創りあげた。2階のレストラン「Long Table」の新しいスペースも必見だ。リニューアル後は近隣に新築ホテルが建ち並ぶ中、客室稼働率の大幅な向上を表現。今回プロジェクトを担当したR事業部マネージャーの伊藤奈緒美氏は「提案ができれば本望で

▲2階のレストランのリニューアル